

五島市立岐宿中学校「育って欲しい力」

年 氏名

校訓	育って欲しい力	どのレベル (Lv)まで到達したか、定期的に振り返ろう。4月 ・ 7月 ・ 12月 ・ 3月				
		Lv. I	Lv. II	Lv. III	Lv. IV	
理	勉	<b>A 知識・理解</b> 各教科における基礎学力や一般常識を身に付けながら、まずは岐宿町・五島、将来的には世界規模の世の中の変化やその課題を理解できるようになるための知識を身に付けよう。	「わかった」「できた」という喜びをたくさん経験しよう。	先生の話や友達の発表をよく聞き、授業の内容と身の回りで起っていることについて考えてみよう。	進んで意見や質問を出し、授業の内容と身の回りで起っていることについて理解できるようになるよう。	どの教科の内容もしっかりと身に付け、特に好きな教科については、自ら目標を立て学習の進め方を工夫して学習しよう。
		<b>B 「一歩前」の精神 (前向き・チャレンジ)</b> 「誰かの役に立っている」ということを実感でき、時と場合に応じて自分の役割を見つけ、自らの夢や理想の実現に向かって、ねばり強く一歩ずつ前に進もう。	「こんな人になりたい」「こんな仕事をしたい」という夢やあこがれを持とう。	自分の仕事には責任を持って取り組み、進んで「人の役に立った」と感じる経験をしよう。	自分の良いところやどんな仕事に向いているのかを知り、「19歳の自分(高校卒業)」の姿を実現するために、今、努力すべきことを考えよう。	夢やあこがれを実現するために、ねばり強く一歩ずつ着実に進み、近づく努力をしよう。
		<b>C ふるさとの担い手としての能動的市民性</b> 「自分も、岐宿町・五島を支えるんだ」という意識を持ち、ふるさとの未来を真剣に考えよう。	岐宿町・五島の自慢をたくさん紹介でき、また、「こうなったらいい」という課題もわかり、進んで岐宿町・五島を知るようにしよう。	自分の若さあふれるあいさつや行動が岐宿町・五島を元気にしていることに気付き、進んで岐宿町・五島に貢献しよう。	岐宿町・五島の良さを生かし、自分なりに岐宿町・五島の課題の解決策を考えてみよう。	日本の課題や世界の課題にまで視野を広げ、現在の自分のできる範囲で具体的に行動してみよう。
想	友	<b>D 他者との協働力</b> 自分とはちがう意見や考え方もしっかりと聴く姿勢を身に付け、学級や学校の大切な一人として協力したり、一緒に働きながらお互いを高め合うことができるようになるよう。	自分の学級や班、部活動などで、自分の役割を果たし、協力して行動しよう。	学校全体の一員、地域の一員、五島市の一員としての自覚を持ち、役に立とうとする具体的な行動をしよう。	「しなければならぬ」ことは確実にやりとげ、想像力を働かせ、他の人が気持ち良く活動できるようにしたり、手伝ったりしよう。	「人の役に立つ」ことをうれしと感じ、実際に学校や地域でのボランティア活動に参加しよう。
		<b>E 寛容さ</b> 考えの違う人や少数の意見、障がい者を差別せず、お互いを大切にしようとする思いやりと温かさを持ち、一緒に働きながらお互いを高め合うことができるようになるよう。	いじめや差別はしたことがないし、実際にそのような場面に出会ったら、やめさせる行動を起こそう。	世の中にはいろんな考えや立場の人がいて、たとえ自分とは違っていても、尊重するようにしよう。	自分と違う人でも無視や仲間外し、自分の考えの押し付けをせず、相手を認め、尊重して行動しよう。	人種差別、宗教差別、性差別、部落差別などが間違った差別であるとわかっており、差別を無くす具体的な行動を起こそう。
		<b>F 思考力・創造力</b> 身の回りで起こることに「何故だろう」という疑問を持ち、知っていることをもとに考え、また何度も考えを修正しながら、自分なりの答えを見つめることができるようになるよう。	身の回りで起こる色々なことに「何故だろう」と考えてみよう。	色々な疑問を誰かに聞くのではなく、できるだけ自分で調べたり、確かめるようにしよう。	疑問を持ったことについて、正解にとらわれ過ぎず、知っていることや経験から自分なりの考えを持とう。	疑問を持ったことについて、たとえ正解ではなくても、似ている他のことから出した考えを使い、自分なりに説明できるようにしよう。
造	造	<b>G 表現力・発信力</b> 「まずは、しっかりと聴く」ことを大切に、どのような場でも自信を持って自分の考えを述べることができ、他の人に「なるほど」と思わせる表現の仕方を工夫しよう。	他の人の話をしっかりと聴き、疑問点や聞き取れなかったことをそのままにせず、質問したりして、しっかり理解するようにしよう。	相手にしっかりと「伝える」ことを意識してわかりやすく発表しよう。	相手を「納得」させ、「なるほど」と思わせるために、表現方法を工夫しよう。	色々な表現(文章、イラスト、写真、音楽など)を使って、色々な方法(新聞、ポスター、コンピュータ、HPなど)を活用できるようにしよう。